

「ハウズランド社」がつくった
西国在住 / じやんと住まい

優しい木の香りに包まれ
本物の家とともに年を重ねる。

100年、200年と住み継いでいける
「本物」の和の家を建ててほしい。
Uさんご夫妻からのそんな願いを受けて
「ハウズランド社」が建てた家。木の香りの中
仕事に動し、季節を楽しむご家族です。



石畳のアプローチ。もともとこの土地に植えられていた木を活かして整備



化粧梁や柱、建具などは3色に塗装し、表情豊かな空間に、深遠りの杉の床は滑りにくく良に優しい触感が魅力



家づくりの完成と考え方が
合致した唯一の会社

Uさんご夫妻は日本人のご主人と台湾人の奥さまの国際カップル。おふたりが望んだのは、機能性よりもずっと住み継ぎたくなるような本物の家だった。
「100年、200年、メンテナンスをしながら大事に長く住み続けていける、しっかりとした和の家が理想でした。最初は古民家のリノベーションも考えていて、ホームページで古民家に強いハウズメーカーを探していたんです。その時にここは、と感じたのが「ハウズランド」だった。「社長さんと何度もお話をしてもモデルハウスも見学させていただき、信用できる会社

キッチンカウンターの下はCDなどをしまし収納に。その下に蓄熱ヒーターが無駄なく収まる設計



道かみのある塗り壁、大きな屋根。家族の暮らしをどしどし守る安定感ある設計

開放感を感じる玄関。収納量たっぷりのシューズクロークからも直接室内に入ることができるので玄関に靴が散乱する心配もない



だなと、揺るぎない感触を得ました。他にも何軒かハウズメーカーをまわりましたが、家づくりの感性や考え方が私たちが合致した会社は、ハウズランドさんだけでした。
家を建てるなら、子どもがのびのびと成長できるような感じがいい。しかも、自然が身近に感じられて、買い物にも便利で、地域の人々が町づくりに積極的な町がいい。そう考えたUさんご夫妻が選んだ土地は、南北に長く、少し変形している。「ハウズランドの社長さんは、この変わった地形がおもしろいね、と言ってくれました。その言葉も頼もしかったですね」とご夫妻は振り返る。
さらにはこんなエピソードも。
「施工が始まる時、土地に運ばれてきた木材の多さに近所さんもおびつくりなさって。どんな家が建つのかと、興味を持って見守ってくださいました。これもじつはハウズランドさんのおかげ。事前にご近所さんへの挨拶も、事前に近所さんへの挨拶も、させていただいたんです。施主の私たちだけでなく、周囲の方への心くばりが行き届いているところも、さすがです。住む人の心にとことん寄り添う「ハウズランド」らしいエピソードだ。